



おめでとうございます

『秋津書道』八月号

調和体

一席 咲田静子 高等部 (東京)

競書

七席 滝川政和 人の部 (東京)

一席 長谷川松子 高等部

入選 堀井幸江

一席 前田グレース 一般部 (東京) 行書

入選 草野律子 楷書

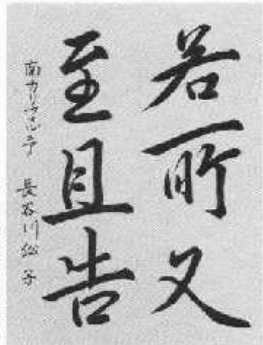
九席 竹内康子

入選 小倉治望

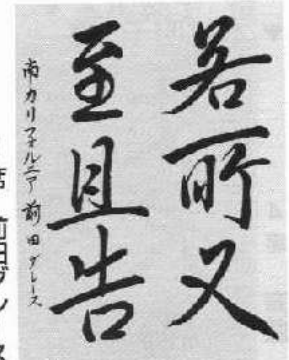
入選 ノーリスてるみ



1席 南カリフォルニア 咲田 静子  
大胆に書かれています。筆が良く動いて素晴らしいです。



1席 長谷川松子  
とても素直な書きぶりで心地良い。



1席 前田グレース

よく練習されています。大らかに書けました。



9席 竹内 康子

※「しきなみ賞」最終選考候補に

ホン史子さんが入りました。

しきなみ短歌

一日のうだる暑さに悲鳴あげ水風呂に  
からだ冷せばほつとす 奥本洋子

あじさいを見る度思うふる里の雨にぬ  
れ咲く清楚な花を 杉野和子

ピクニック特大ズボンに二人入りオイ  
ツチニオイツチニとでかパンレース

ふきの群れ涼やかな地で大きな葉ひろ  
げて吾を驚かすなり 長谷川松子

風鈴とモツキンバードのハーモニーど  
こからともなく運び来る風橋高比呂美

塩出笑子

塩出笑子

塩出笑子

塩出笑子

藻をかぶり水面（みなも）に浮ぶ鴨のひな  
みつめる親の優しき眼差し 大川敏子

あさがおの美しさはと問われるれば昼には逝  
けし儂さにあり 西島幸彦

朝刊を何時もの様に取り上げて見上げる空  
に金色の月 和田好江

滝壺に映えるワイルアの滝の虹見とれて自  
然の景観に酔う 滝川歌子

雨のなき夏場となりて朝なさな十株のナス  
に水施しぬ 伊勢田豊

一面に斜りを覆うラナンキュラス香りなけ  
れど鮮らけく咲く 矢口裕司

矢口裕司

矢口裕司

矢口裕司

なでしこと母への思慕を描いた詩画小さき  
声でくり返し読む 伊澤潤子

孫に問う「何故おしゃべりが止まらぬの」  
「神様私をお話好きに」 梅本豊造

二人目の子を授かりて吾娘の面あやす仕種  
にゆとりの見える 梅本和子

紫陽花の葉に銀線を引きながらゆるりゆる  
りと蝸牛這う 門園美枝子

手のひらに入るくらいのとウモロコシ初収  
穫を夫と分け合う ホン史子

今日の我心のすき間を埋めたくて小さきバ  
ラなど飾りておりぬ 松永典子

五十年を我等の店に毎週末通ってくれし黒  
人庭師 草野律子

吾を案じ幼き文字と絵を書いて教え子から  
の「get well」カード 摺木洋子

突風で手から離れた風船は青空目指しフラ  
フラ昇る 松元依子

藻をかぶり水面（みなも）に浮ぶ鴨のひな  
みつめる親の優しき眼差し 大川敏子

あさがおの美しさはと問われるれば昼には逝  
けし儂さにあり 西島幸彦

朝刊を何時もの様に取り上げて見上げる空  
に金色の月 和田好江

滝壺に映えるワイルアの滝の虹見とれて自  
然の景観に酔う 滝川歌子

雨のなき夏場となりて朝なさな十株のナス  
に水施しぬ 伊勢田豊

一面に斜りを覆うラナンキュラス香りなけ  
れど鮮らけく咲く 矢口裕司

矢口裕司

矢口裕司

矢口裕司

矢口裕司

矢口裕司

矢口裕司

矢口裕司

矢口裕司

矢口裕司

矢口裕司

矢口裕司

矢口裕司

矢口裕司